



担当課 健康福祉課

主な情勢

子ども・子育て支援事業

子どもを取り巻く生活環境は、少子高齢化や核家族化、女性の就業率増加などに伴い、大きく変化しており、子育てに孤立感・負担感を感じている子育て家庭も少なくありません。

町は、子育て支援策の更なる充実を図るため、桑折町内に居住する0歳から小学校6年生までの保護者に対しニーズ調査を実施するとともに、第2期計画(令和2～6年度)を策定し、町民ニーズを踏まえた事業の提供体制の確保および円滑な実施に努めました。

今後も、子育て家庭の多様なニーズを的確に捉えた各種施策の更なる推進が求められます。

母と子の健康づくり推進、ネウボラ(子育て支援)

少子化の進行により、子ども同士の交流の減少や保護者の過干渉など、子どもの社会性が育まれにくくなることが懸念されています。また、核家族化、共働き家庭の増加、地域のつながりの希薄化など、家族のあり方や家族を取り巻く環境が多様化する中、女性一人が育児をする「ワンオペ育児」も問題となっています。

本町では平成29年に子育て世代包括支援センター「すくすく」を開所し、妊婦・新生児・乳児全戸訪問や各種健康診査など、専門スタッフによる支援、育児アドバイスをを行うとともに、母子のみならず、家庭の一貫した健康管理と保持増進を図っています。

児童福祉

特別な支援を必要としている子どもや家庭では、障害のある子ども、ひとり親家庭、児童虐待、貧困など一人一人が置かれている状況は異なります。近年ではヤングケアラー*問題も認知されるなど、求められるニーズも複雑・多様化している状況にあり、全ての子どもとその家庭、妊産婦などを対象として、包括的な支援を行うことが求められています。

本町では、児童福祉の充実を図るため、障がい児の療育などの悩みを持つ保護者の相談に随時応じるとともに、要支援・要保護児童に対しては保育所や幼稚園、学校などの関係機関と連携を取り、個々のケースに応じ、きめ細かい支援を行っています。

また、経済的な困窮については各種給付金事業などの丁寧な案内を行うとともに、各機関との連携を図り支援に努めています。



妊娠期からの悩みをサポートする子育て世代包括支援センター「すくすく」(令和3年2月)



地域子育て支援拠点事業で行われているママカフェ(令和3年5月)

町が目指す姿 安心して妊娠、出産、子育てができ、必要な支援が受けられ、親子がいきいきと生活し、子どもの笑顔が輝くまち

基本目標

項目	説明	基準値	目標値
出生数	町内における1年間の出生数	49件(R2年)	61件(R13年)

施策の方向性

施策5-1-1 子ども・子育て支援事業の推進

- 家族の協力の下、子育て家庭が行政の提供するサービスを利用し、地域からもさまざまな場面で支えられながら子育てができるしくみや意識づくりに努めます。
- 親子が実りある時間をともに過ごし、親子の絆を深め、子育ての楽しさを実感し、子どもの豊かな成長につながるよう支援の提供に努めます。

主な取組み

- 子ども・子育て支援事業計画の推進
- 子育て世代包括支援センター事業
- 地域子育て支援拠点事業
- 一時預かり保育事業
- 親子のふれあいイベントの実施

連携課

教育文化課 総合政策課 生活環境課 建設水道課

施策5-1-2 母と子の健康づくり推進

- 子育てを通じて親子が絆を深め、心身ともに健やかな日々を送ることができるよう、妊娠期からの細やかな支援と、望ましい食習慣や生活習慣の確立に努めます。

主な取組み

- 妊婦健診事業
- 乳幼児健診事業
- 生活習慣確立のための教育・支援事業
- 食育推進事業
- 思春期対策・支援事業

連携課

教育文化課

施策5-1-3 ネウボラ(子育て支援)の充実

- 妊娠から出産、子育て期のさまざまな疑問や不安、悩みに対して相談を受け、関係機関と連携し子育てをしっかりとサポートし、安心して子どもを産み育てられる環境整備に努めます。

主な取組み

- 子育て支援アプリ活用事業
- すくすく(育児相談)の日事業
- 産後ケア事業
- 妊婦・乳児全戸訪問事業
- 育児パッケージプレゼント事業
- 両親学級事業

連携課

教育文化課

施策5-1-4 児童福祉の充実

- すべての子どもとその家庭、妊産婦などを対象とした支援のため、子ども家庭総合支援拠点を整備し、ICT*の活用などにより包括的な支援を行います。

主な取組み

- 子ども家庭総合支援拠点事業
- 子ども医療費助成事業
- ひとり親家庭医療費助成事業
- 就学遺児励励金支給事業
- 要保護児童対策地域協議会

連携課

教育文化課

重要業績評価指標

KPI(重要業績評価指標)名	説明	基準値	目標値
町の子育てのしやすさの満足度	子ども・子育てに関するニーズ調査における町の子育てのしやすさについて「しやすい」「まあまあしやすい」と回答した保護者の割合	83.6% (H30年)	87.0% (R6年)
肥満児の割合	3歳児健診時の肥満児の割合	21.0% (R元年度)	15.0%以下 (R6年度)
この地域で、今後も子育てをしていきたいと思う保護者の割合	乳幼児健診時のアンケート調査で、この地域で、今後も子育てをしたいかについて「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した保護者の割合	95.7% (R元年度)	100.0% (R6年)
子育ての感じ方	子ども・子育てに関するニーズ調査で「子育ては喜びや楽しみが大きい」「どちらかという大きい」と回答した保護者の割合	85.9% (H30年)	90.0% (R6年)

分野別の計画等

- ▼第二期桑折町子ども・子育て支援事業計画
- ▼第二次健康こおり21「活き生きこおり健康プラン」
- ▼桑折町地域福祉計画
- ▼桑折町障がい者基本計画
- ▼障がい福祉計画
- ▼障がい児福祉計画

協働する団体等

- ▼医療機関
- ▼町内事業者
- ▼中央児童相談所
- ▼町社会福祉協議会
- ▼町民生委員協議会

施策 5-2 乳幼児保育と教育の充実



担当課 教育文化課

主な情勢

乳幼児保育

出生者数が減少傾向にもかかわらず、核家族化や共働き世帯の増加などにより、家庭での保育が困難な乳幼児や児童が年々増加しています。そこで、保育所・幼稚園預かり保育・小学校の放課後学童保育など、保護者ニーズに添った子育て支援を実施しています。

釀芳保育所の入所児は、平成26年度以降増加し続けており、「待機児童ゼロ」を継続するためには、不足している保育士の確保や老朽化が進む施設・設備の充実が求められます。

幼稚園預かり保育や学童保育においても、利用者の増加傾向に加え、特別な支援を必要とする園児・児童数も増加している状況にあり、支援員の確保に苦慮しています。

幼児教育

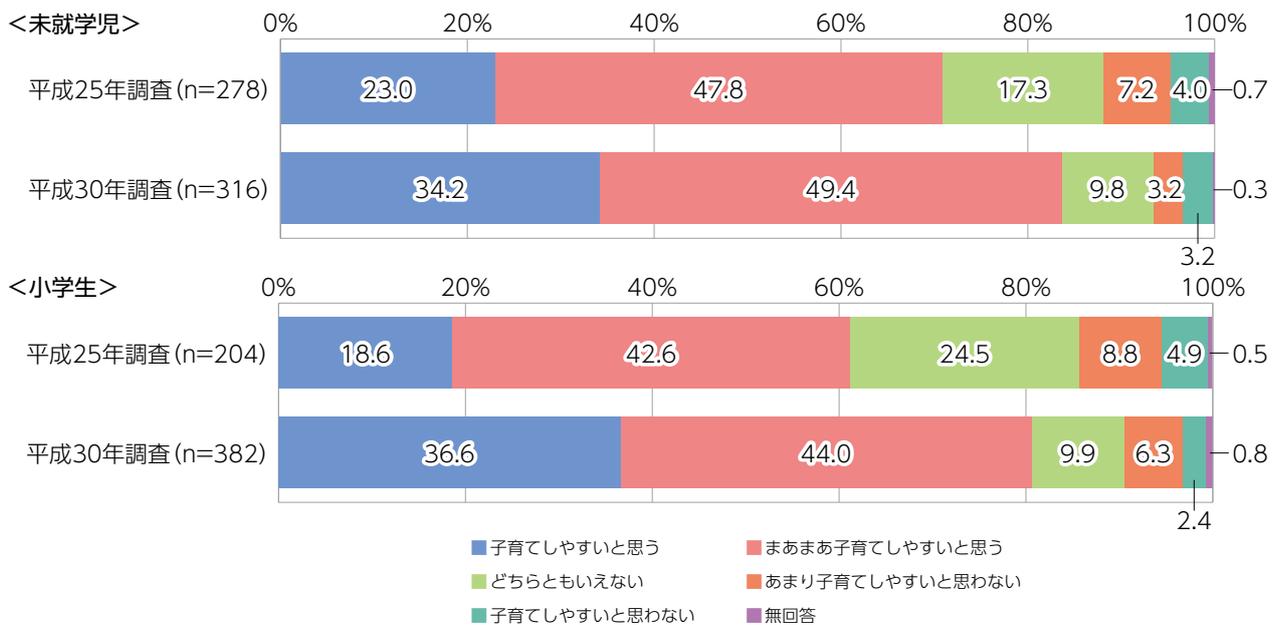
平成29年4月に4園を統合し、多くの園児と一緒に活動する機会を通して集団生活の意義を学ぶとともに、「桑折町の15歳のめざす姿」として保育所・幼稚園から小学校・中学校までの育ちと学びの一貫性を大切にした教育を推進しています。

近年、改めて幼児教育の重要性が指摘されており、本町においても、保育の改善・充実に努め、人間形成の基盤づくりに力を入れていくとともに、それを小中学校教育に確実に接続していくことが求められます。

乳幼児保育・教育にかかる経済支援

子育てに係る家庭の経済的負担を軽減するため、保育所保育料の軽減や給食費の全額助成、入園時の制服贈呈、病児・病後児保育利用料助成などを行うとともに、家庭の教育力向上のための参考図書配付や家庭教育講演会開催などを行ってきました。その結果、保護者から「子育てしやすい町」と評価されています。

町の子育てのしやすさ



出典：保護者対象の子ども・子育て支援に関するニーズ調査 (H30年実施)

町が目指す姿 「子育てをして良かった」と思われる、子どもを産み育てやすいまち

基本目標

項目	説明	基準値	目標値
町の子育てのしやすさの満足度	子ども・子育て支援に関するニーズ調査における町の子育てのしやすさについて「しやすい」「まあまあしやすい」と回答した保護者の割合	83.6% (H30年)	87.8% (R13年)

施策の方向性

施策5-2-1 待機児童ゼロの堅持

- 保育所・幼稚園預かり保育・学童保育の「待機児童ゼロ」を堅持していくために、保育士の確保や施設・設備の整備など、人的・物的両面において受け入れ体制の整備に努めるとともに、乳幼児保育については民設民営による認定こども園への移行を進め、さらなる充実に努めます。
- 特別な支援を必要とする園児・児童に対しては、適切な保育を可能とするために研修などを通して支援員のさらなる資質向上を図ります。

主な取組み

- 認定こども園の開設に伴う既存保育所の運営移行 ● 保育士や支援員の確保と施設・設備の充実
- 支援員の研修や関係者間の情報共有による保育体制の充実

施策5-2-2 幼児教育の質の向上と小中学校への接続

- 幼児教育に携わる教職員の資質・専門性の向上を図るとともに、幼稚園教育と小中学校教育との円滑な接続を図ります。
- 一人一人を大切にす温かい教育のために、特別支援教育の充実を図ります。
- 民設民営による認定こども園との連携を図りながら、教育の充実を図ります。

主な取組み

- 環境¹を通しての遊びを中心とした総合的な指導の充実 ● 認定こども園との連携に基づく幼児教育の実施
- 研修会・先進園視察実施 ● 自然と触れ合う活動の充実：自然体験・歴史探検・栽培活動の実施
- 保育所・幼稚園・小学校・中学校の合同保育研究会・授業研究会の実施 ● 幼児・児童・生徒の交流活動の実施
- 特別支援教育の充実：ことばの教室・就学相談会

1 環境とは、物的環境、人的環境(教諭や友達、身の回りのさまざまな人)、自然的環境(天候や自然物、時間や空間)などさまざまなものをいう。

施策5-2-3 家庭への手厚い子育て支援

- 子育てに係る家庭の経済的負担を軽減するとともに、家庭の教育力向上に向けた支援を継続して取り組みます。また、町の子育て支援施策の情報発信を強化し、「子育てしやすい町」という評価をより一層高めていきます。

主な取組み

- 幼稚園給食費全額補助、幼稚園入園祝い品制服贈呈、病児病後児保育利用助成
- 子育て参考図書配付や家庭教育講演会開催、子育て相談、子育て支援策の情報発信

連携課

健康福祉課

重要業績評価指標

KPI(重要業績評価指標)名	説明	基準値	目標値
待機児童数	保育所への入所要件を満たしているにもかかわらず、入所できない状態にある児童数	0人 (R2年度)	0人 (R6年度)
年少人口	町内における15歳未満の人口	1,177人 (R3年1月)	1,065人 (R6年1月)

分野別の計画等

- ▼ 桑折町教育振興基本計画 ▼ 桑折町教育委員会重点 ▼ 醸芳保育所保育計画 ▼ 醸芳幼稚園教育計画
- ▼ 桑折町子ども・子育て支援事業計画

協働する団体等

- ▼ 町民 ▼ 民間こども園事業者



担当課 教育文化課

主な情勢

質の高い教育の実施

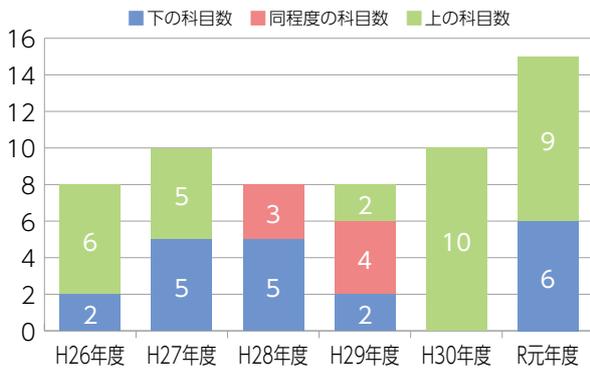
「桑折町の15歳のめざす姿(高い志を持って、自分の将来を切り拓いていこうとしている15歳)」の実現に向け、関係者が協力して、学力・体力向上、心の教育の推進に取り組み、質の高い教育の実施に努めてきました。今後も引き続き「質の高い教育を実施する町」としての取組みの推進が求められています。

変化の激しい社会における教育の在り方

グローバル化や高度情報化、環境問題、各種災害・感染症など、社会がめまぐるしく変化する時代を迎えています。教育には、これからの社会に生きる子どもたちに対し、持続可能な社会の創り手として社会の安全・安心の確保に貢献できる資質・能力の育成が求められます。

学力の状況～令和元年度まで6年間の全国学力調査結果(元年度は新県学力調査結果も)～

学力調査結果(県平均との比較)



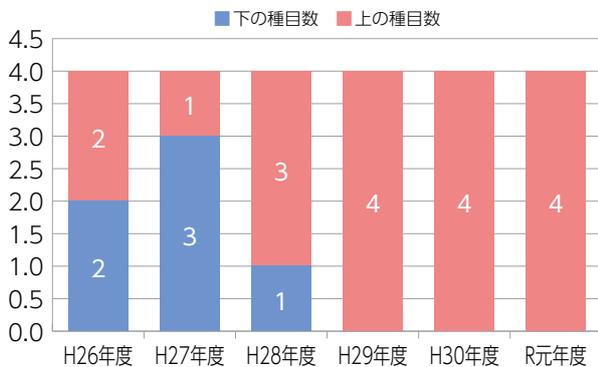
(注)全国調査は、小6・中3の国語と算数・数学、年度によって理科や英語も実施。県調査は小4～中2の国語と算数・数学
出典：文部科学省「全国学力調査」



タブレット端末を活用した授業(令和3年6月)

体力の状況～令和元年度まで6年間の全国体力・運動能力調査結果～

体力調査結果(県平均との比較)



(注)調査は、小5男・小5女・中2男・中2女
それぞれの体力テスト合計得点の計4種目
出典：スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」



立ち幅跳び測定の様子(令和3年6月)

町が目指す姿 人間としての基本を身に付け、強みを発揮して、たくましく未来を切り拓いていく桑折っ子が育つまち

基本目標

項目	説明	基準値	目標値
全国学力・学習状況調査 ふくしま学力調査	平均正答率が県平均を上回った科目数	県平均超は 9/15科目 (R元年度)	全科目 県平均超 (R13年度)

施策の方向性

施策5-3-1 一人一人の能力を最大限に伸ばす質の高い教育の推進

- 知・徳・体の基礎を身に付け、目標実現に向けて豊かな感性・主体性・思考力・創造力を発揮するとともに、郷土への理解と愛情、地域や社会に貢献する志を持った子どもの育成のために、学力・体力向上、心の教育の推進に取り組みます。

主な取り組み

- 学力向上(脳科学研究に基づく生活習慣改善、読み・書き・計算徹底反復、探究型授業による主体的・対話的で深い学びの実践、家読奨励、桑折学習塾など)
- 体力向上(「早寝・早起き・朝ごはん」町民運動の推進、給食を活用した食育、運動身体づくりプログラム、運動継続の1校(園)一実践、地域スポーツとの連携など)
- 心の教育(不登校・いじめ対策、規律・礼節の重視、体験活動・平和学習・キャリア教育の充実、ふるさと教育(西山城見学など)の拡充など)

施策5-3-2 新しい時代に必要となる資質・能力の育成

- 変化の激しいこれからの社会に必要とされる力を身に付けた子どもの育成のために、地域住民の協力を得ながら英語教育、情報活用能力育成、防災・安全教育、持続可能な開発のための教育、健康教育などの推進に取り組みます。

主な取り組み

- 英語教育(英語指導助手・指導協力員の活用、英検受験奨励・費用助成、英語体験活動の実施など)
- 情報活用能力の強化(1人1台端末と高速大容量通信ネットワークを常時活用する授業、家庭でもつながる通信環境を活用するオンライン授業や家庭学習、ICT[※]支援員配置・活用と教職員研修など)
- 各種教育課題への対応(防災・安全教育、持続可能な開発のための教育、感染症対策も含む健康教育など)

重要業績評価指標

KPI(重要業績評価指標)名	説明	基準値	目標値
小学校「読み・書き・計算の徹底反復」目標達成率	児童の集中力や学習の基礎力、 取り組み姿勢や意欲の向上 ・家 読：年10回の指定日に読書 ・漢 字：平均80点以上の学年 ・百ます：1～4年 2分以内 5～6年 1分30秒以内	家読79% 漢字4/6学年 百ます37% (R2年度)	家読85% 漢字6/6学年 百ます50% (R6年度)
全国体力・運動能力、 運動習慣等調査	体力テストの 4種別(小5・中2・男・女)の合計得点	県平均超は 4/4種別 (R元年度)	全科目県平均超 4/4種別 (R6年度)
英語検定取得率	中学3年生の英語検定3級以上取得率	20% (R2年度)	30% (R6年度)

分野別の計画等

- ▼桑折町教育大綱 ▼桑折町教育振興基本計画

協働する団体等

- ▼町民 ▼町内事業者



担当課 教育文化課

主な情勢

特別な支援が必要な子どもの増加

特別支援教育を受ける児童生徒や不登校児童生徒数については、全国的に増加傾向にあります。本町においても例外なく増加しており、通級指導教室の開設や特別支援学級の増設、不登校児童生徒のための教育支援センター開設などの対策を講じていますが、減少には結びついていない状況にあります。

子育て世代への手厚い支援

子育て世代の家庭に対し、教育費用の軽減を図る各種経済的支援、家庭教育支援を実施しています。これにより得られた「子育てしやすい町」という評価を学校教育においても、より一層、高めていくことが重要です。

教育施設・設備の維持・管理・整備

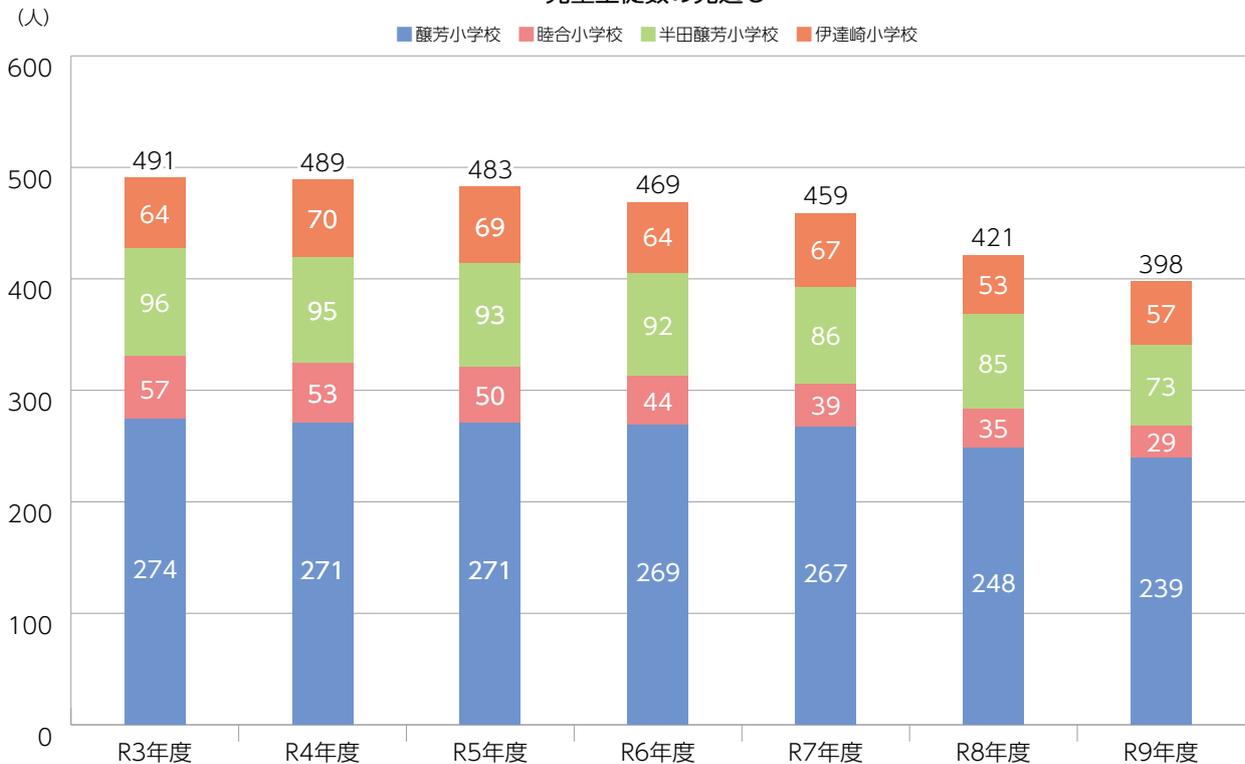
学校や給食センターの施設・設備は、安全・安心な学校運営に支障をきたさぬよう、日常的な点検などを行いながら、必要に応じた補修・更新などの計画的な実施に努めていますが、老朽化が進んでいることから、長期的な維持管理・整備方策の検討が求められます。

児童生徒数の減少による学校の小規模化

少子・高齢化の進行の中で本町においても小中学校の児童生徒数減少に伴い、学校の小規模化が進んでおり、小学校では今後数年間のうちに複式学級編制が生じる見通しとなっています。

小学校統合も含めた少子化対策の取組みについては、小中一貫教育や学校・地域の連携・協働などの学校運営上の課題と併せて検討していくことが重要です。

児童生徒数の見通し



出典：教育文化課資料

町が目指す姿

学校・家庭・地域の連携・協力の下、安全・安心な環境の中で、全ての子どもたちが誰一人取り残されることなく充実した教育を受けられるまち

基本目標

項目	説明	基準値	目標値
子育て支援についての満足度	町民アンケート調査における町の子育て支援施策についての満足度で「満足」「やや満足」と回答した割合	75% (R元年度)	85% (R13年度)

施策の方向性

施策5-3-3 一人一人を大切にすまちづくり

- 家族と学校の絆を深めながら一人ひとりが大切にされ、活躍することを目指す、多様性と包摂性を重視した教育の推進に取り組みます。

主な取り組み

- 特別支援教育(特別支援学級・通級指導教室・特別支援教育支援員の活用、関係機関との連携による切れ目のない支援体制の確立など)
- 不登校対策(スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの活用による教育相談体制づくりと家庭への支援、不登校が起きない学級・学校づくり、教育支援センターによる教育機会確保と学校復帰支援など)

施策5-3-4 家庭への手厚い子育て支援

- 手厚い子育て支援施策を継続・充実させ、子育て支援施策についての情報発信を強化することで、家庭の教育力向上と「子育てしやすい町」と一層の評価を得られるよう取り組みます。

主な取り組み

- 経済的支援(給食費助成・制服贈呈・就学援助・奨学資金貸与など)
- 家庭教育支援(参考図書配付や家庭教育講演会開催による家庭の教育力向上支援、情報提供や相談体制整備、子育て支援施策についての情報発信の強化など)

施策5-3-5 教育施設・設備の充実

- 教育理念の実現のために物的な教育環境を整えることが必要であるため、保護者や地域住民の協力を得ながら学校施設・給食センターの施設・設備の充実に係る施策の推進に取り組みます。

主な取り組み

- 学校教育施設(長期的な維持・管理・整備計画の作成(学校プールの取り扱いも含む))
- 給食センター(施設・設備の計画的な維持管理・整備、管理・運営の在り方の検討)

施策5-3-6 小中学校のあり方の検討

- 小中学校のよりよいあり方を追求し、少子化への対応や学校運営の改善に係る施策の推進に取り組みます。

主な取り組み

- 少子化への対応策の検討(学校小規模化の現状と今後の推移についての把握と分析、小学校統合についてのさまざまな観点からの検討など)
- 学校運営の改善の検討(働き方改革や学校・地域連携・協働の推進、小中一貫教育やコミュニティ・スクールの導入の検討など)

重要業績評価指標

KPI(重要業績評価指標)名	説明	基準値	目標値
不登校児童生徒数	年間30日以上欠席した当該対象児童生徒数	小学校 4人 中学校18人 (R2年度)	減少を目指す (R6年度)

分野別の計画等

- ▼ 桑折町教育大綱 ▼ 桑折町教育振興基本計画

協働する団体等

- ▼ 保護者 ▼ 町民